

# 第 61 回大会プログラム

10月8日(金) ワークショップ 18時30分～20時30分 (大学院校舎)

1. 初等・中等教育に対する倫理学の貢献可能性  
(※桑原直己、※新田孝彦、毛塚貴彦、林 貴啓、千葉胤久/313 教室)
2. 動機付けと実践理性について: 「ヒューム主義」の罪  
(※中村隆文、林誓雄、奥田太郎、佐々木拓/324 教室)
3. 「持続可能性」の基盤と射程  
(※丸山徳次、紀平知樹、神崎宣次/325B 教室)
4. 臨床哲学と公共的対話: ネオ・ソクラテック・ダイアローグ (NSD) の可能性  
(※會澤久仁子、本間直樹、寺田俊郎、堀江剛/348 教室)
5. 教養教育としての倫理学 (倫理学系科目) において、何をどう教えるのがいいか  
(※田村公江、高橋 綾、菊地建至/352 教室)
6. 性表現の倫理的問題  
(※坂井昭宏、※魚住洋一、※江口聡、上村崇/358 教室)

\*印は責任者

10月9日(土) 自由課題発表 9時30分～11時50分 (西校舎)

## 第1会場 (512 教室・司会: 山内春光)

- 9:30-10:10 小谷俊博 日本古代の人間観 一柿本人麻呂における神・人・自然—  
10:20-11:00 板東洋介 情念と形式 一謡曲『砧』を手がかりに  
11:10-11:50 川嶋英彦 共感と共苦の先にあるもの 一蓮思想における代受苦と救済—

## 第2会場 (513 教室・司会: 平井靖史)

- 9:30-10:10 吉田修馬 『新エロイーズ』と『エミール』における自然的善性の問題  
10:20-11:00 西山晃生 ベルクソンにおける身体の諸相  
11:10-11:50 三河隆之 ジャンケレヴィッチの勇気論

## 第3会場 (515 教室・司会: 山口誠一)

- 9:30-10:10 山蔦真之 カント『道徳形而上学の基礎づけ』第三部は何を目指しているか  
10:20-11:00 裕 智樹 訓育 (Zucht) としての教養形成と近代的「主体」の形成について  
—ヘーゲル教養形成論の一解釈—  
11:10-11:50 佐山圭司 愛はこの世の対立を和解しうるか 一青年ヘーゲルの「愛の倫理」

## 第4会場 (516 教室・司会: 大川正彦)

- 9:30-10:10 藪本沙織 トマス・ホブズの「権威付け」理論の検討と位置づけ  
10:20-11:00 児島博紀 ロールズの「功績」批判  
11:10-11:50 池田 誠 R. M. ヘアのロールズ批判再考

## 第5会場 (522 教室・司会: 壽 卓三)

- 9:30-10:10 今村純子 美的なもの倫理的なもの  
—佐藤真監督『阿賀に生きる』をめぐって—  
10:20-11:00 入谷秀一 アドルノの知識人論  
11:10-11:50 高木哲也 道徳教育における悪の問題

10月9日(土)主題別討議 13時30分～16時30分(西校舎)

第1会場 (512教室)

内在主義と外在主義

— 道徳判断と動機づけの関係について — 実施責任者 成田和信

奥田太郎 内在主義／外在主義論争で何が問題になってきたのか

— 分析倫理学者による闘いの足場を確認する —

荻原 理 マイケル・スミスにしたがって

— 動機づけについての弱い内在主義の擁護 —

田村圭一 道徳的な判断に関する動機付けの外在主義の擁護

第2会場 (513教室)

道徳(徳)は教えられうるか

— 初等・中等教育における道徳教育について — 実施責任者 荻野弘之

田中伸司 問題の始発点と歴史的回顧

— 古代ギリシア、特にソクラテス・プラトンの思想圏から —

桑原直己 初等・中等教育における道徳・倫理教育における問題状況

寺田俊郎 学校教育において道徳(徳)は教えられるか

— カントの議論を手がかりとして —

第3会場 (515教室)

明治の思想における国家と個人

実施責任者 佐藤康邦

八木公生 明治における「文明開化」の一端

平山 洋 福沢諭吉における国家と個人

朴 倍暎 金玉均と明治国家—甲申政変を中心に—

10月9日(土)会員総会 16時40分～17時30分(西校舎517教室)

- ・開会宣言
- ・議長選出
- ・会長挨拶
- ・評議員選挙終了宣言
- ・次年度科学研究費配分委員候補者選挙
- ・平成21年度決算と監査報告
- ・平成22年度予算
- ・一般会務報告
- ・和辻賞選考結果報告
- ・第62回大会開催校について(開催校代表挨拶)
- ・第62回大会共通課題テーマ関連報告
- ・その他
- ・閉会宣言

10月9日(土)懇親会 18時00分～19時30分(西校舎地下1階 生協食堂)

10月10日(日)自由課題発表 9時30分～11時50分(西校舎)

第1会場 (512教室・司会:宮野真生子)

- 9:30-10:10 太田裕信 西田幾多郎の実践哲学 - 『哲学論文集第四』を中心として一  
10:20-11:00 中嶋優太 目的の王国としての個人的意識  
- 西田『芸術と道徳』における<社会>的自己論  
11:10-11:50 廖 欽彬 開かれた共同体の論理 - 後期田辺哲学の「種」概念をめぐる

第2会場 (513教室・司会:氣多雅子)

- 10:20-11:00 山下 真 不死の共同性  
- ヤスパースにおける<死>の拡張と人類の未来-  
11:10-11:50 村上暁子 レヴィナスにおける自己の唯一性を起点とした社会論について

第3会場 (515教室・司会:御子柴善之)

- 9:30-10:10 脇本賢一 他者感覚の喪失と公共性の脆弱化  
10:20-11:00 林 貴啓 道徳的想像力論が投げかけるもの  
- 応用倫理からメタ倫理まで-  
11:10-11:50 三浦隆宏 アーレント判断力論における社交性、共通感覚、注視者の問題

第4会場 (516教室・司会:宇佐美公生)

- 9:30-10:10 鈴木 真 非認知主義と真理  
10:20-11:00 佐藤岳詩 ハイブリッドな表出主義と指令主義の再評価  
11:10-11:50 佐々木拓 自由価値に関する内在主義/道具主義問題:  
非対称な自由と「ウォルデン・ツェー問題」

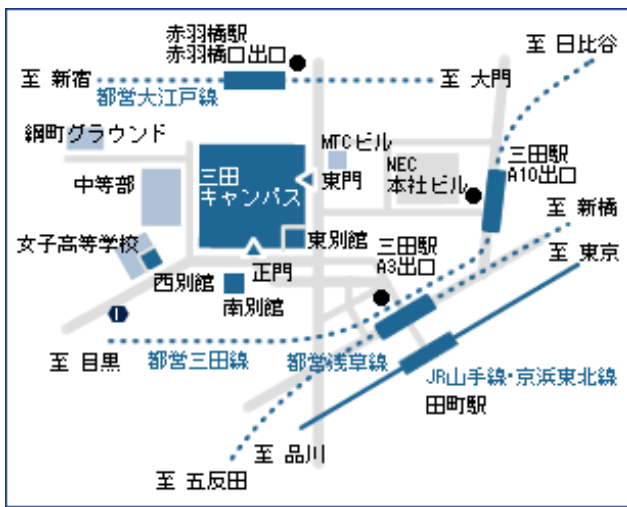
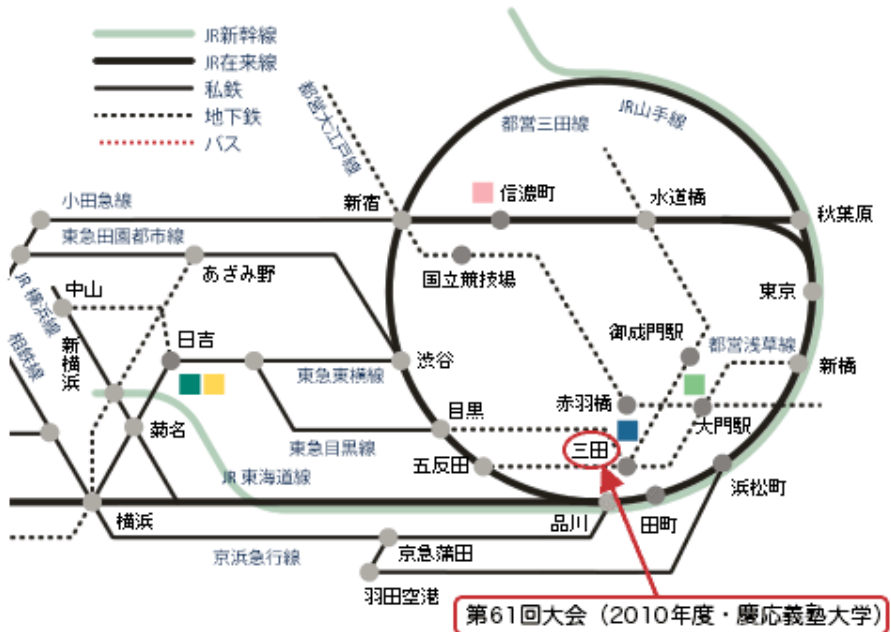
第5会場 (522教室・司会:丸山徳次)

- 9:30-10:10 食見文彦 食べることをめぐる倫理的緊張についての考察  
- 動物解放論と生命中心主義の観点から  
10:20-11:00 高橋太一 環境倫理学の幾つかの概念に対する農業からの反応  
11:10-11:50 寺本 剛 環境倫理において自由主義は可能か

10月10日(日)共通課題「共感・共苦」 13時00分～17時00分(517教室)

- 13:00-13:10 藤野 寛 趣旨・方法の説明
- 13:10-13:40 神崎 繁 二つの Sympathy - 「共同体感情」と「宇宙交感」 -  
(要点確認の簡単な質疑 5分)
- 13:45-14:15 勢力尚雅 共感に基づく道徳と社会の行方  
- ヒュームとスミス の洞察を題材として -  
(要点確認の簡単な質疑 5分)
- 14:20-14:50 清水正之 「あはれ」をめぐる日本の倫理思想から  
- 共感・共苦はどのように終結するか -  
(要点確認の簡単な質疑 5分)
- 14:55-15:05 本間直樹 特定質問  
(提題者からの回答 10分)
- 15:15-15:30 休憩
- 15:30-17:00 全体討議

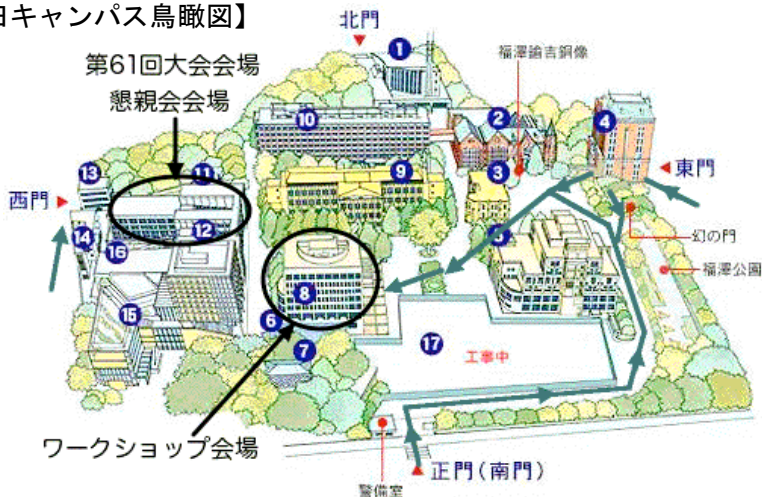
大会会場(慶應義塾大学・三田キャンパス)交通・キャンパス・会場マップ  
 ●交通アクセス



- 住所 〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45
- 交通アクセス
  - ・J R山手線、京浜東北線 田町駅下車、徒歩 8分  
 (※東京～田町：約 10分 ※渋谷～田町：約 15分)
  - ・都営地下鉄浅草線、三田線 三田駅下車、徒歩 7分
  - ・都営地下鉄大江戸線 赤羽橋駅下車、徒歩 8分

## ●キャンパスマップ

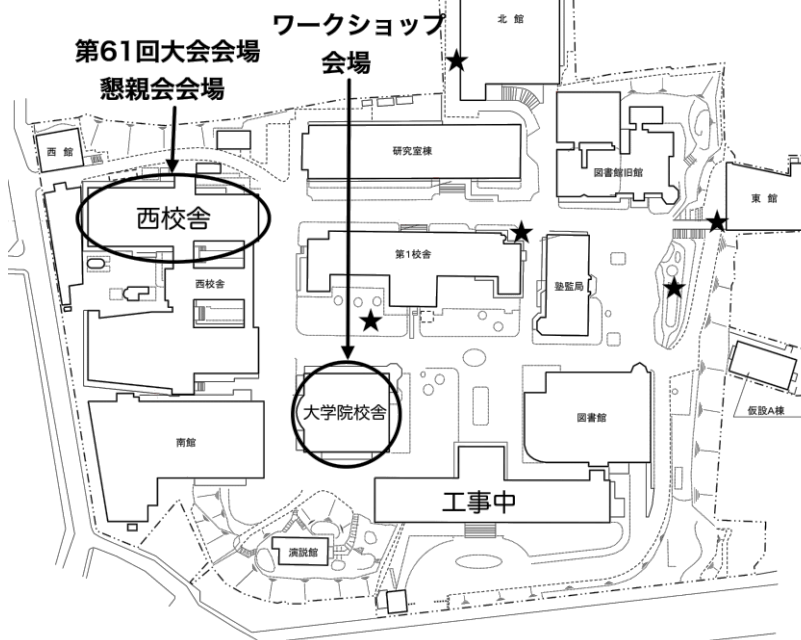
### 【三田キャンパス鳥瞰図】



- 南校舎立て替えのため、正門からの入校はご不便をおかけしますが、ご了承ください。
- 東門には、エレベータが設置されています。
- 会場には利用可能な駐車場がありません。公共交通機関にてご来場ください。

### ●会場マップ（1）

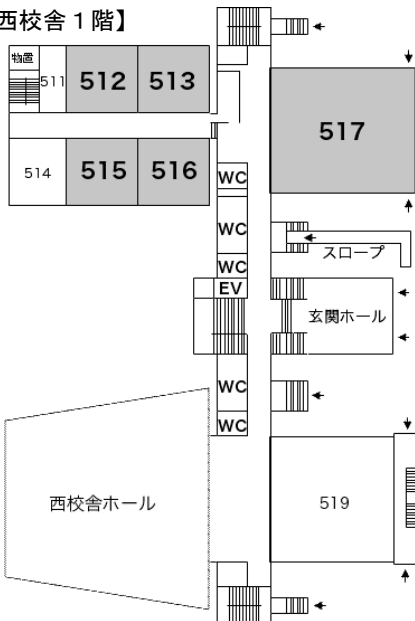
★印の場所に喫煙所が設置されています。  
灰皿のない場所は、すべて禁煙です。



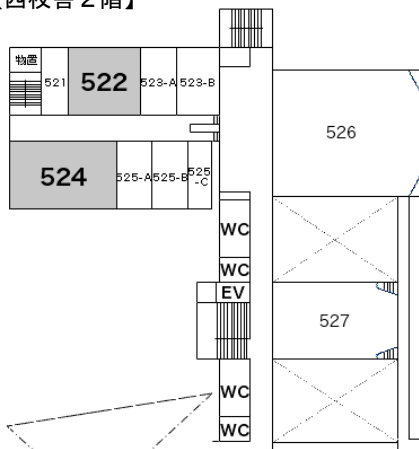
# ●会場マップ（2）

## ■大会および懇親会会場

### 【西校舎 1階】



### 【西校舎 2階】

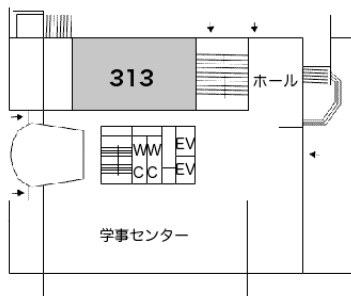


### 【懇親会会場】

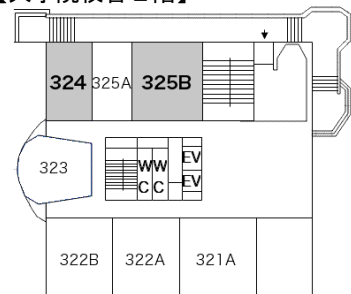
西校舎玄関ホールの階段を下って、  
地下1階の生協食堂です。

## ■ワークショップ会場

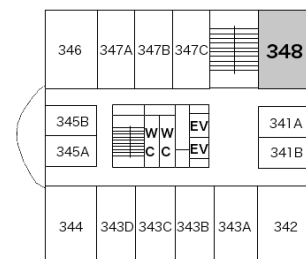
### 【大学院校舎 1階】



### 【大学院校舎 2階】



### 【大学院校舎 4階】



### 【大学院校舎 5階】

